

新製品・イワタWIDER特別号

アネスト岩田のスプレーガンがフルモデルチェンジします！

アネスト岩田はW101・200シリーズのスプレーガンを刷新し、新型スプレーガンシリーズ「WIDER・ワイダー」の発売を発表しました。W101はWIDER1へ、W200はWIDER2へと進化 そのポイントは・・・
《特長》

■機能性を重視したデザインやパーツの改良を実現

本体はもちろんパーツ各所、例えば各ツマミ類にはテーパーを設け深い溝を入れ、確実な微調整を行えるなど、エルゴノミクスデザイン（人間工学）を用いたうえで、従来よりも5gの軽量化を実現しました。

また、少量塗布時の操作性向上のためにトリガーの先端形状をなだらかにしたりスムーズな塗料調整を可能とするためにニードル弁ばね後方には樹脂パーツを組み込むなど、きめ細やかなパーツの改良を実施しています。

■エアキャップをはじめメンテナンス性を向上

エアキャップのネジピッチを1.0mmから、1.5mmへと変更することにより、従来のWシリーズの半分の約1回転半で締め込むことができます。

さらに、ニードル弁の後端部へは、着脱が容易に行えるよう形状の工夫をし、空気及び塗料ニップルはネジのないストレート部を設けジョイントの接続を容易にするなどメンテナンス性の向上を図っています。

■リニアに反応するパタン調整装置

従来のパタン調整装置は、1回転で全パタン幅の約45%に達し、1.5回転で約80% 2回転ではほぼ前開となっていました。新開発のパタン調整装置では、1回転で約35%、1.5回転で約50%、2回転では70%と、リニアに（比例して）反応するように調整されており、より直感的に操作できるようになりました。

■個体差の少ない空気弁シートセット

従来の空気弁シートセットは、エア経路の開孔部の大きさが大と小の組み合わせになっており、パーツ組立のねじ込み時の位置関係（＝個体差）により空気量に差が生じ、塗料噴出量やパタン幅に影響を与えてしまう可能性がありました。新型では開孔部を大きく均一にすることで、ねじ込みによる個体差の少ない空気シート弁を実現し、安定した塗装に寄与することができます。

このように、一見従来のWシリーズと同じように見えますが、中身は全くの別ものです。パーツの互換性もありませんのでご注意ください！

Kiwamiも変わります



さらにW101シリーズのバリエーションモデルであった「kiwami」が単独ブランドとして独立しました。ベースモデルはWIDER1となります。従来のW101ベースの美粧モデル「金」「銀」「Blue」も「kiwami」に統合されます。ちなみに従来モデルからの継承モデルですが、たとえばベースコート用として定番であるW101-138BGCはKIWAMI-1-13B8となります（詳しくはパンフレット等をご参考ください）

*ただしkiwamiには、これまでと同じフィーリングでご使用いただけるように「リニアに反応するパタン調整装置」は搭載していません。ご了承ください。

